

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日：令和8年3月13日

アンケート回答期間：令和8年2月1日～令和8年2月15日

事業所名：放課後等デイサービス Liebeまはら

対象人数（保護者）11人 回答者数 8人 回収 72.7%

	チェック項目	はい	どちら とも えない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8					広い活動スペースを有効活用し、活動内容や利用人数、その日のお子様の様子に合わせて過ごしやすいスペース作りに努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7			1		現在、管理者、作業療法士、保育士、児童指導員の計5名で支援させて頂いております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	1		1		空間分けを視覚的にもわかりやすくするため、お子様の腰の高さくらいの可動式の仕切りを活用しています。また、絵カードやイラスト張り紙等を用いて意思疎通がスムーズに行える様に工夫しております。室内に段差はなく、バリアフリー化されていますが、手すり等の設置はありません。今後利用者様に応じて、可動式スロープや手すりの設置を検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8					毎日清掃を徹底し、清潔で心地よい空間を維持できるように努めています。また、活動や遊びに合わせて安全に過ごせるよう家具などの配置を工夫していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8					保護者様のニーズに合わせ、作業療法士による専門的な支援を実施しております。実施した内容やお子様の様子は都度、保護者様にお知らせさせていただいております。
	6 事業所が公表している支援プログラム（※2）は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8					『様々な体験を通して成長できる場所の提供を行っていくこと』を方針とし、毎日様々な活動プログラムを実施しております。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	8					送迎時や面談にて保護者様からのニーズやお悩み等をお聞きしたうえで、個別支援計画書を作成させて頂いております。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8					児童発達支援ガイドラインに基づき、本人支援、家族支援、移行支援の支援内容を記載しております。本人支援では5領域に分野分けした支援内容を設定しております。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					個別支援計画を保護者様、全職員に共有し、計画に沿った支援を進めております。今後も計画の内容把握と共有に努め、計画に沿った支援を行ってまいります。
	10 事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8					毎日異なる活動プログラムを行っております。保護者様のニーズに合わせた活動プログラムを検討やお子様からリクエストがあった活動を取り入れております。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2		1		現在は交流の場を設けられていない為、今後交流の場を設けられるよう検討してまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8					契約時に契約書に沿って説明を行っております。また、問い合わせがある際は迅速に説明を行っております。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8					送迎時等で保護者様に直接ご説明を行っております。また、HUGシステムにていつでも内容をご覧いただけるようになっております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1		1		保護者参加プログラムを一度開催しました。定期での開催は行っていないため、継続して開催し保護者同士の連携が支援できるよう努めてまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6	2				連絡帳や送迎時を基本とし、必要に応じてLINEや電話でのご相談、面談で共通理解を図っています。今後も、その取り組みを継続して共通理解を図っていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	1		1		送迎時を中心としてご相談を受けさせていただいている場面が多いですが、保護者様からのご要望や必要に応じて面談を行っております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					一人ひとりのお子様に寄り添って支援することを全職員念頭に置いてサービスを提供しております。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	2	1	1		施設内での保護者参加プログラムは定期では行っていないため、定期開催を行えるよう努めて参ります。ごきょうだい様向けの開催はできていないため、今後開催を検討していきます。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7		1		ご相談やご意見を頂いた際には、その日中にご連絡し対応できるように努めています。今後何かありましたら迅速かつ適切に対応できるように努めます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7		1		HUGやLINEを使用して情報伝達をするともに、送迎時にも直接保護者様にお伝えするように心掛けております。お一人ひとりに合った意思疎通の方法を取り入れて支援させていただいております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8				HUGやLINEを通してイベントのご案内をさせていただいております。また、SNSやホームページでのお知らせも行っておりますのでご確認頂けたら幸いです。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8				紙面での個人情報は鍵の付いた書庫で保管しております。SNSで情報発信する際はお子様の個人情報に十分注意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7		1		各マニュアルに関しましては順番にお知らせさせていただきます。マニュアルをもとに職員の研修や訓練を行っております。発生した際には迅速対応できるようにしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8				月に一回施設内にて避難訓練や、防犯訓練を実施しております。また、災害時を予想した引き渡し訓練も定期的な実施も検討しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8				今後も安心してご利用いただけるよう、安全対策の説明や発信をより充実させてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際状況等について説明がされていると思いますか。	8				事故や怪我等発生した際には、すぐに保護者様に連絡（電話、LINE等）し、事故状況とお子様の様子をお伝えさせていただいております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	8				お子様自身ののびのびと好きなことを楽しめる空間作りを目指し、保護者様にも安心して通わせたいと思っておりますよう努力してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8				今後も様々な活動内容を取り入れてお子様が楽しく通所できる様努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8				今後とも満足していただけるようお子様一人ひとりにあった支援を行ってまいりますので、何かありましたらいつでもご相談頂けたらと思います。
	30	事業所に通われてからこれまでで、保護者様が心に残ったエピソードを教えてください。	7		1		職員一同、皆様から頂いたエピソードを拝見して大変うれしく思っております。今後ともお子様と保護者様に寄り沿った支援を行ってまいりますのでどうぞよろしくお願致します。 ・リーベままはらさんに通ってから、言葉もたくさん出てきて、クリスマスに開催した運動会でお友達や職員の方と一緒に玉入れやかけっこをする姿を見て、成長したなど思いました。 ・本人も毎日楽しみに通所しています。それはスタッフさんや他の利用者さんがいてくれるからだと思っています。いつもありがとうございます。 ・息子が少し行き渋りをした時も、すぐに様子を見て声かけや対応をしてくださり安心してきました。 ・活動についても好き・苦手を細かく教えていただけるので、家庭でも関わり方の参考になっています。 ・先生方が明るく雰囲気もよく、安心して通わせてられていることに感謝しています。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をすることがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。